

---

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

---

対象期間 7月18日～7月24日

7月26日 健康医療福祉部感染症対策課

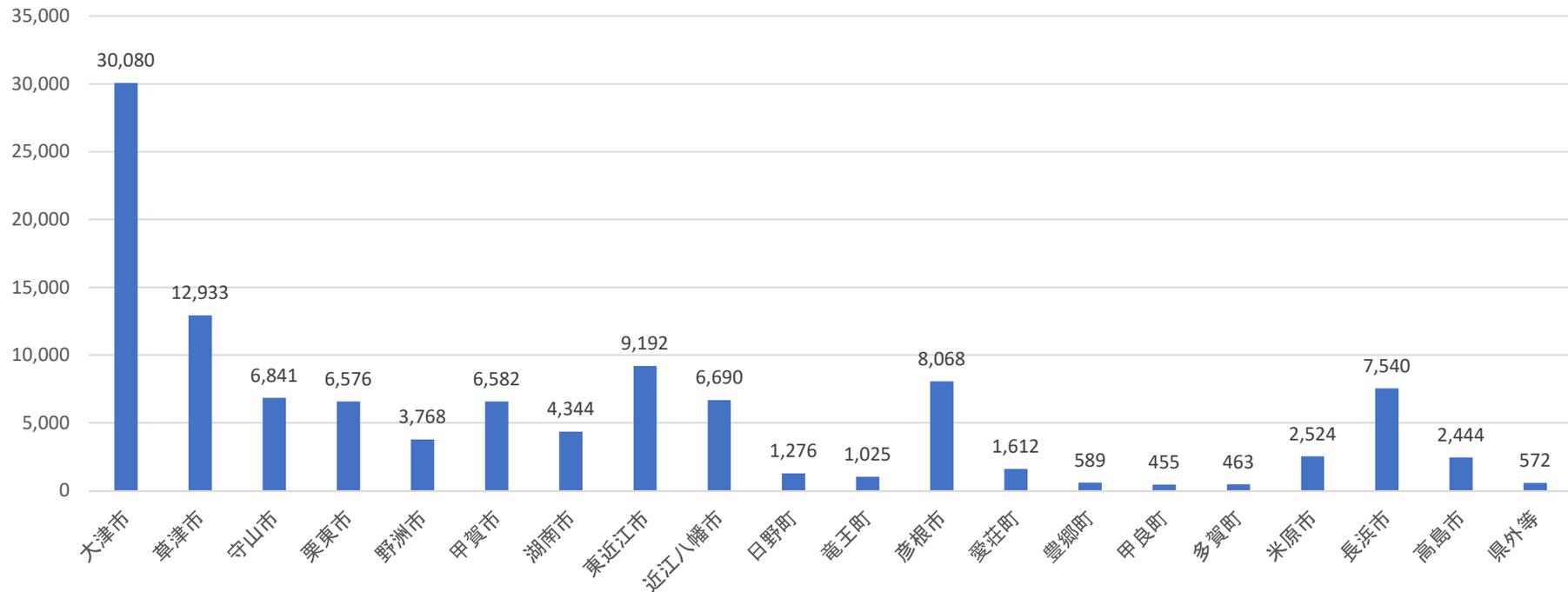


# 1、県内の感染状況について

## 1) 県内の陽性者発生状況

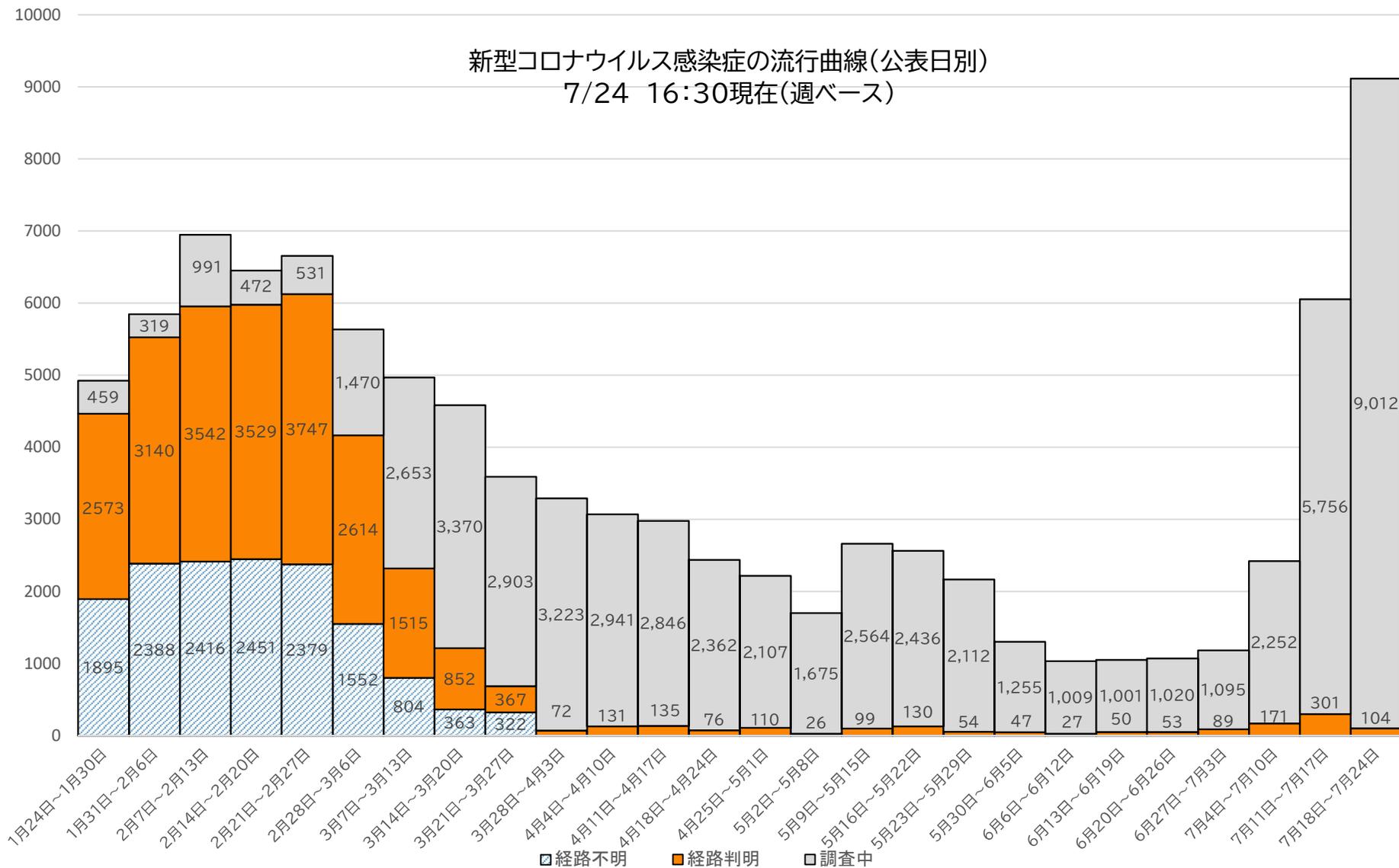
	新規感染者数
今週の報告数(7/18~7/24)	9,116人
累計(7/24時点)	113,574人

## 2) 市町別の累計陽性者発生状況



### 3) 県内の感染動向

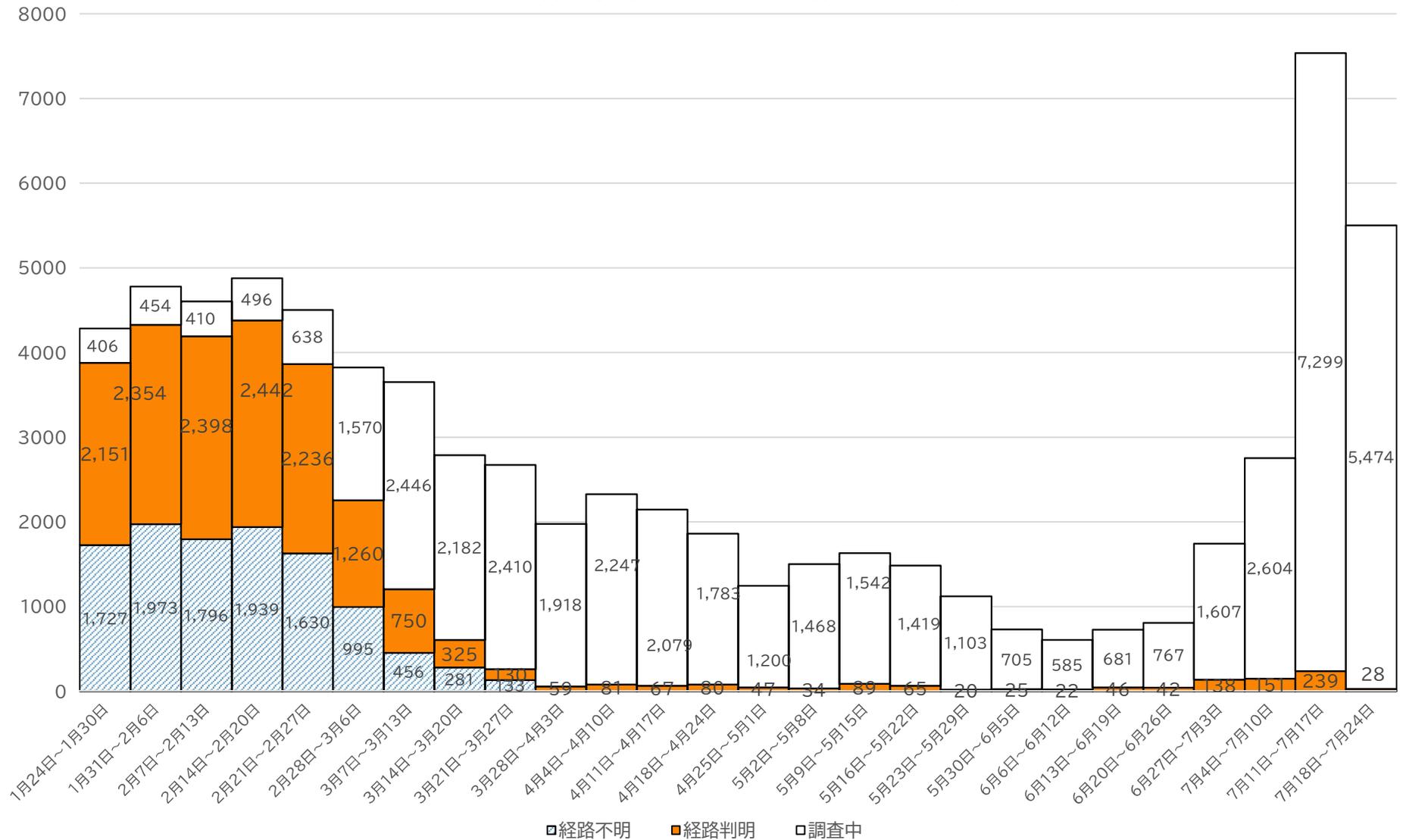
#### ① 流行曲線(公表日別)(7月24日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

## ②流行曲線(発症日別)(7月24日現在)

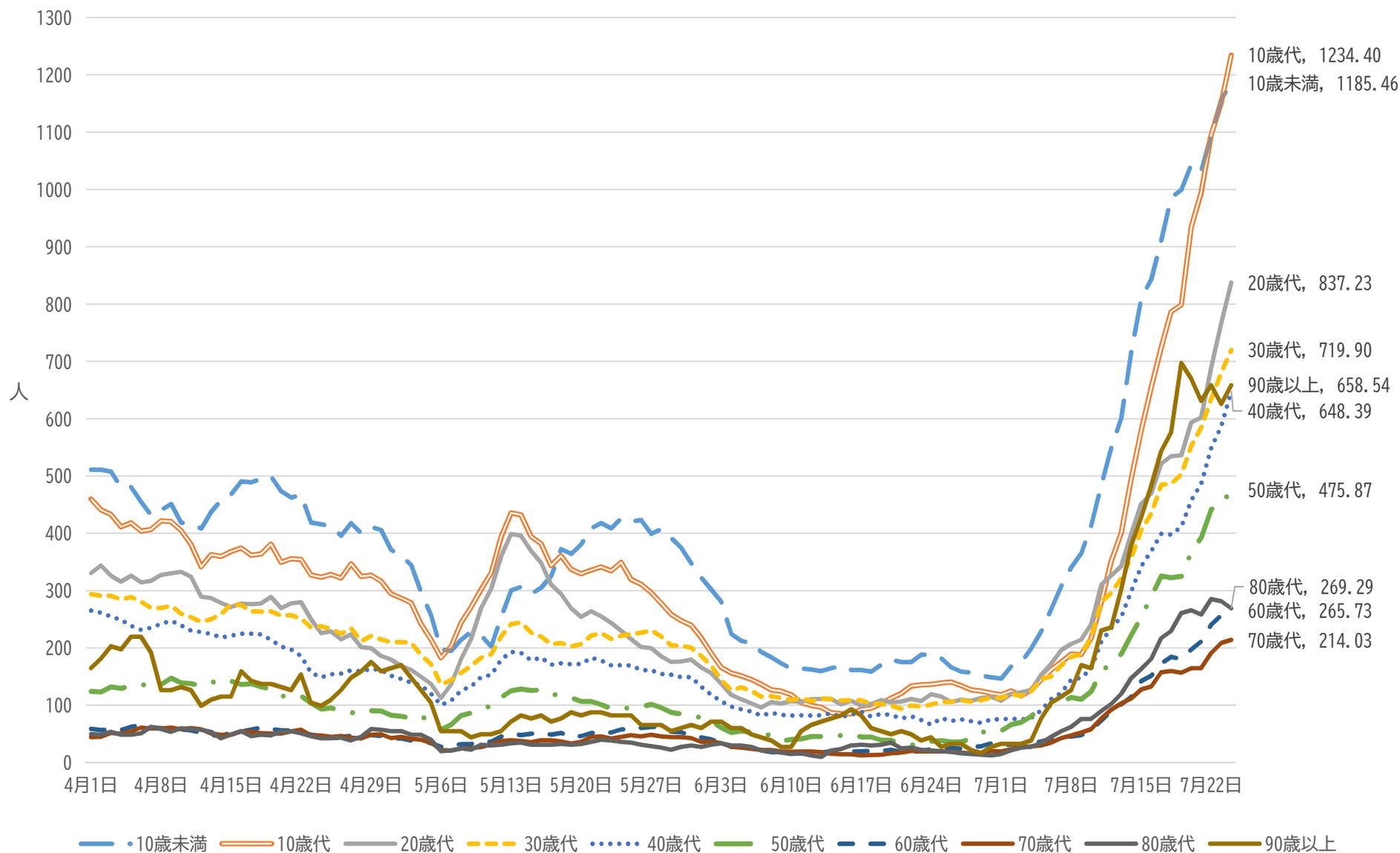
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)  
(無症状者は除く)7/24 16:30現在(週ベース)



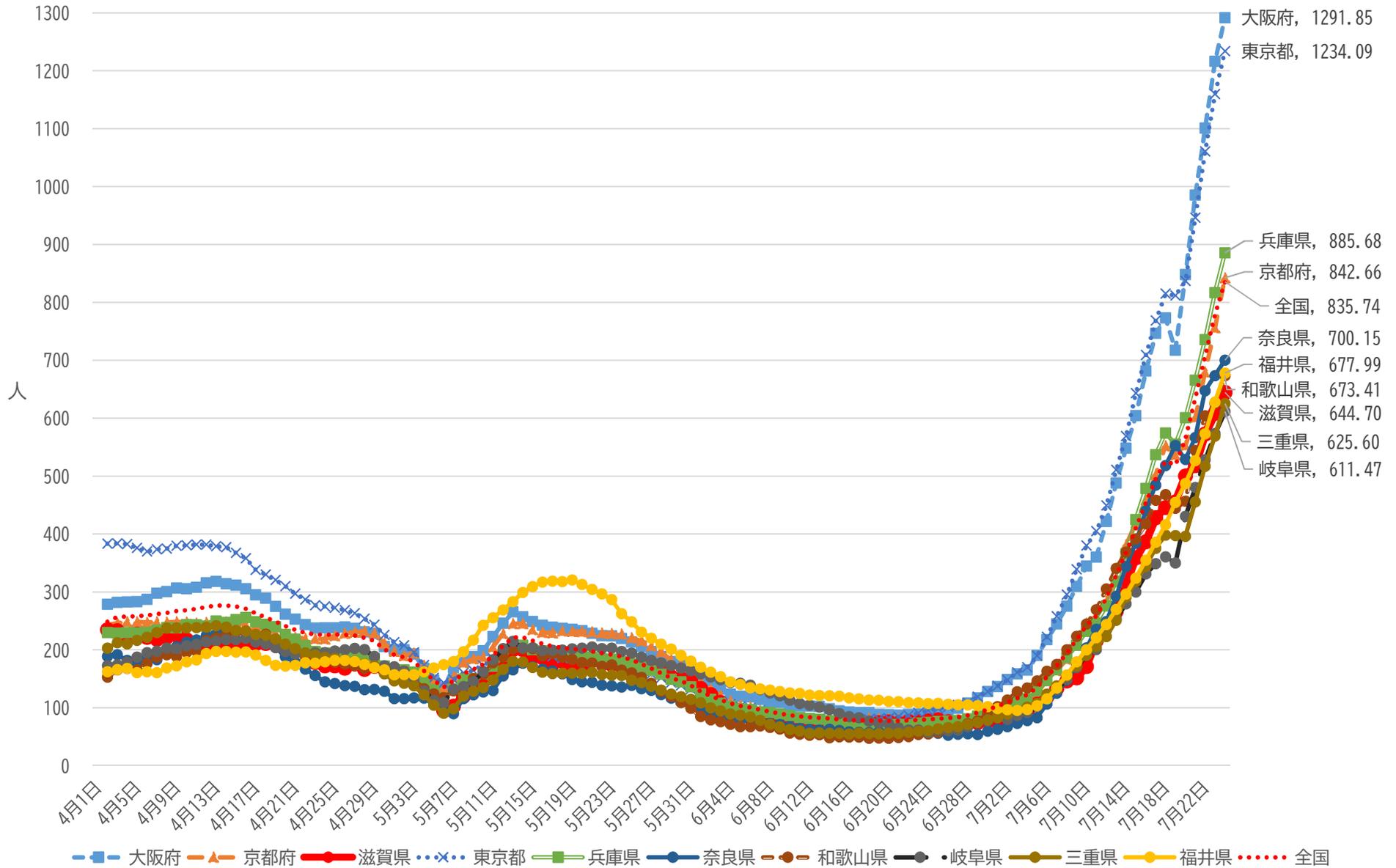
注)無症状者を計上していません。今後7/24以前に発症した患者が届出されることがあります。

## 4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 7/24)



# 5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 7/24)



## 2、県内の感染状況と体制について(7/24現在)

### 1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数			空床数		療養者数			清掃・修 理待ち	空数
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	440	279	240	39	161	630	197	194	3	64	369

### 2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数							入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中				入院予定等	宿泊 療養				
				重症	中等症	軽症						
PCR検査数	453,824											
(うち行政検査分	193,795)	113,574	10,494	240	2	61	177	10,060	194	102,855	225	
(うちその他検査分	260,029)	(PCR検査判明分	66,518)					(うち自宅待機	342)			
抗原検査数	273,084	(抗原検査判明分	47,056)					(うち自宅療養	9718)			

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

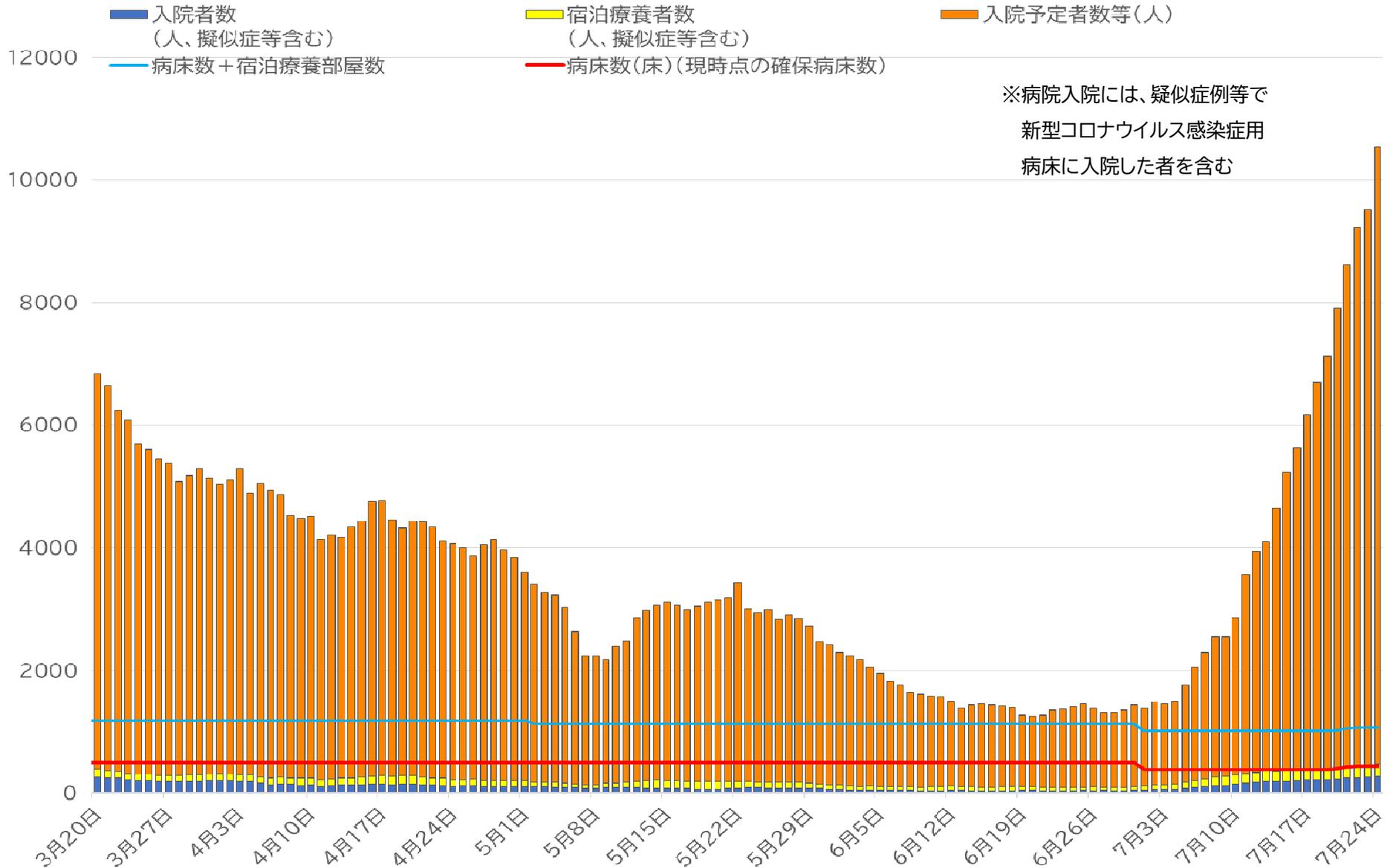
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

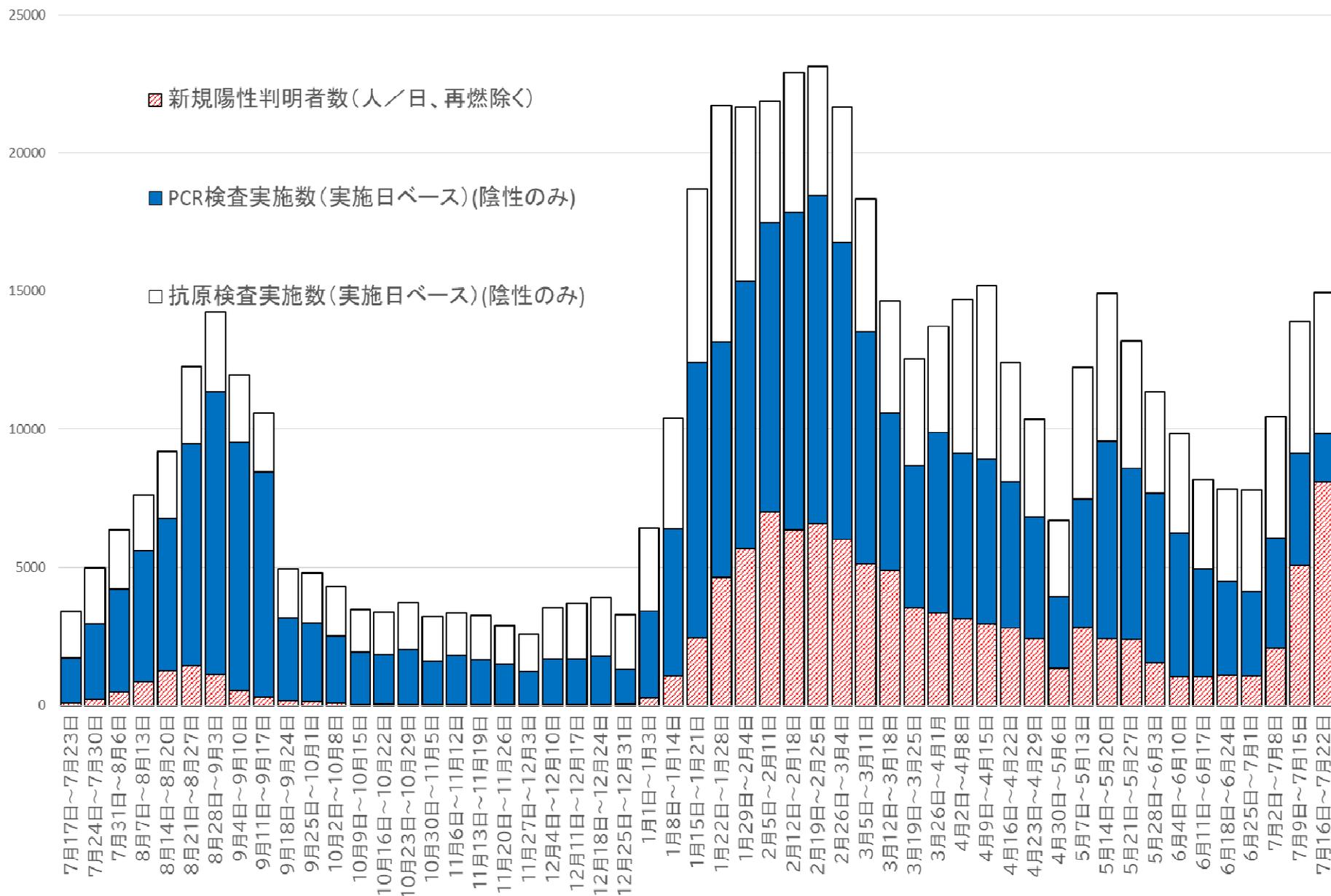
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

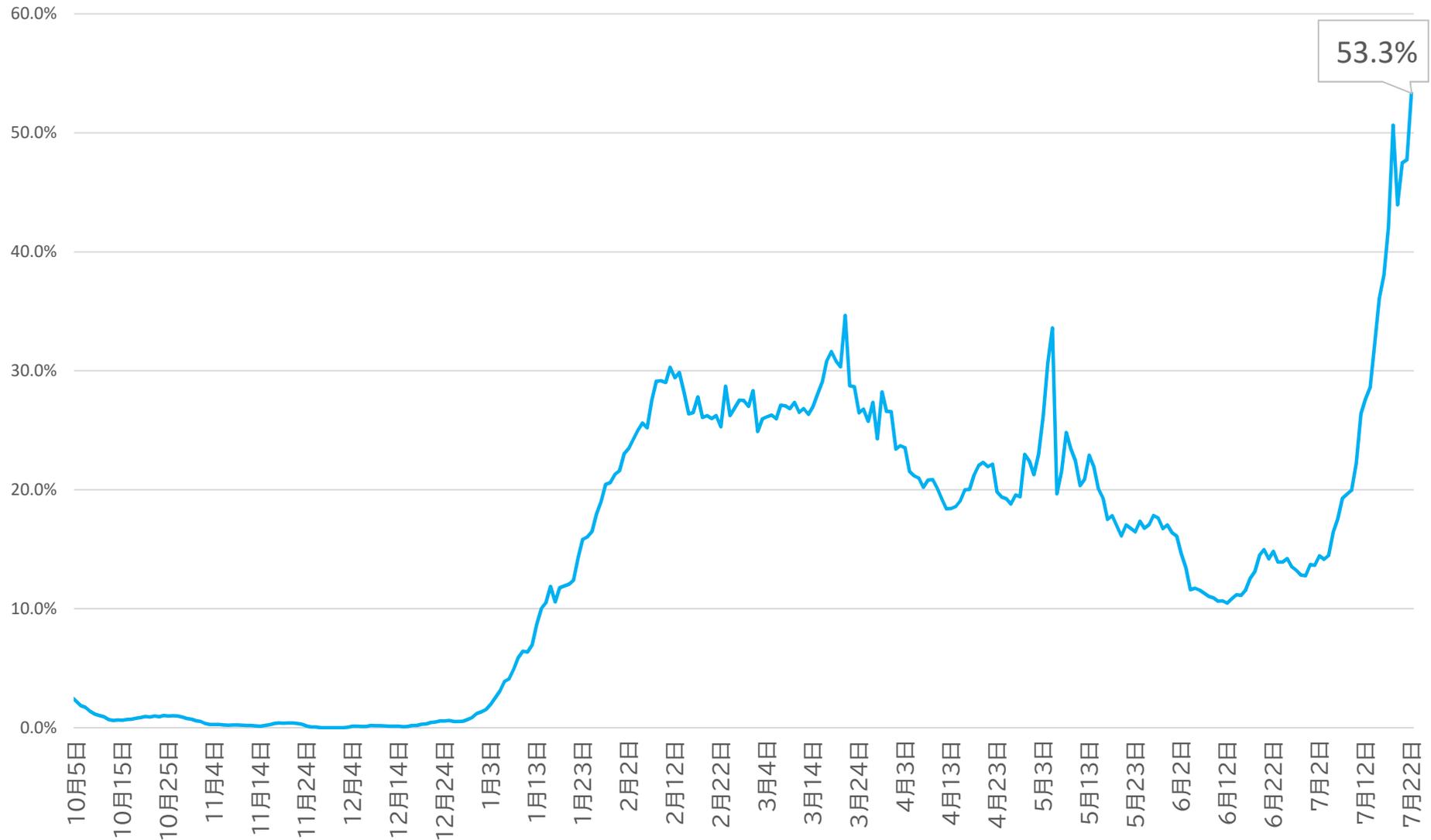
### 3)入院医療体制について



## 4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



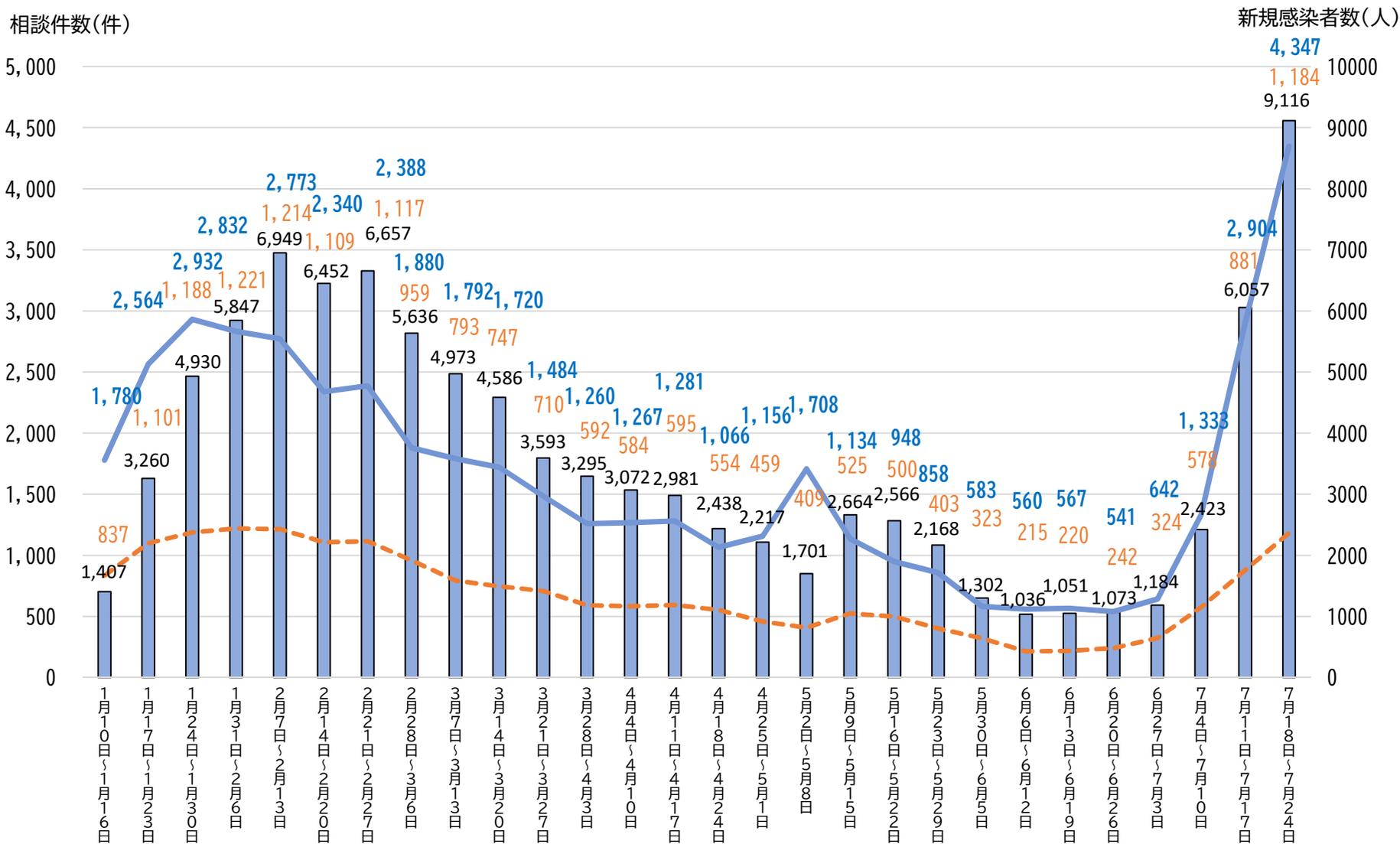
## 5)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、7月22日現在の陽性率は53.3%でした。

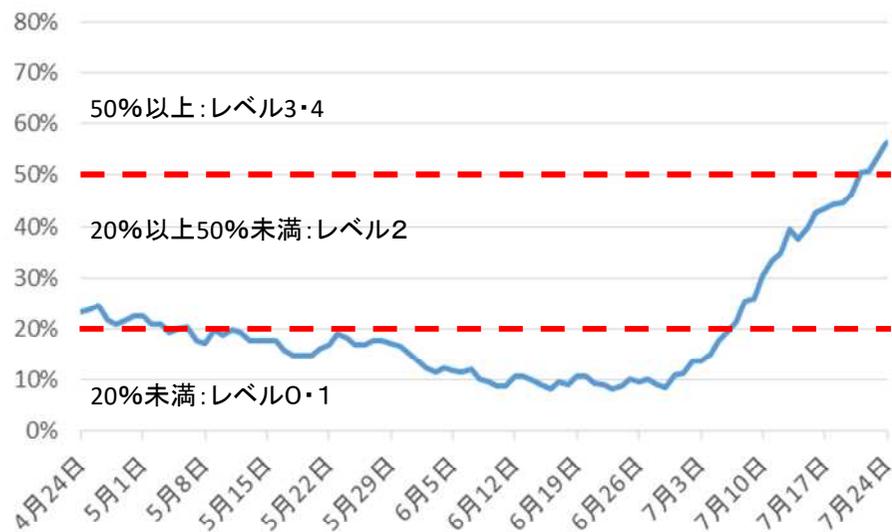
# 6)相談体制について

■ 新規感染者数    — 受診・相談センター    - - - 一般電話相談

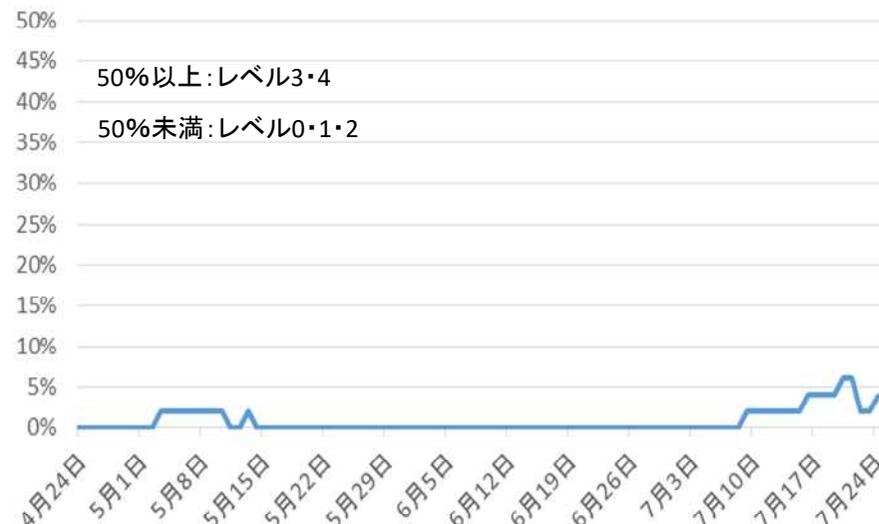


# 7)その他の県内の感染動向

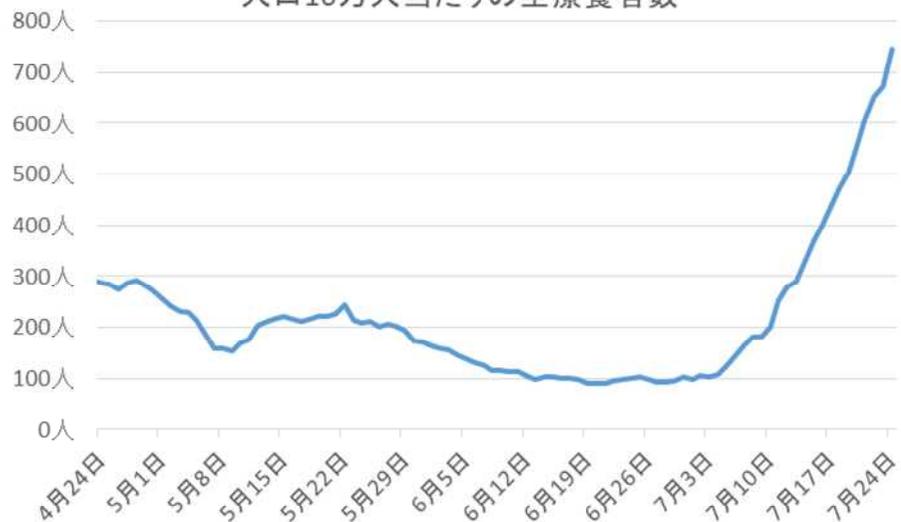
最大確保病床の占有率



重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人  
当たりの新規報告数



## 評価(7/18~7/24の感染状況)

- 全国的に新規陽性者数が過去最多を大きく更新しています。実効再生産数は7月24日時点で1.47となり、増加が続いています。
- 本県も6週連続で前週よりも多くなり、7月22日に1760人の新規陽性者数が報告され、過去最多を更新しています。連日、第6波のピーク水準を超える新規陽性者数が報告され、週合計でも9116人と過去最多を更新しています。曜日別では、23日連続で前週の同じ曜日よりも多くなっています。年代別では、特に10歳代および10歳未満の増加が顕著で、その他の年代も増加傾向が続いています。本県でもオミクロン株BA.5系統が確認されており、置き換わりが進んでいるものと考えられます。
- 最大確保病床に対する占有率は7月24日時点で56.4%となり、自宅療養者等は約1万人となっています。新規陽性者数の増加とともに、中等症の患者数も増加し、重症患者も継続して見られています。高齢者の重症化リスクが高い傾向は、7月以降の感染拡大期でも見られており、高齢者層で感染が拡大しないようにしていく必要があります。
- 医療機関、高齢者施設等でクラスターが多発しており、施設内感染の予防を徹底する必要があります。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- 気温が高く、冷房のため窓を閉め切ることが多くなっていることが想定されます。密閉空間では感染リスクが増加します。一般的なエアコンでは換気できないため、冷房中も常時換気が必要です。
- ワクチン接種についても、効果は徐々に減弱します。3回目・4回目の追加接種の対象者は計画的な接種が必要です。50歳未満の若い年代の一層のワクチン接種を進めることも重要です。